

「楽しい」勉強と生涯学習力



沖縄尚学高等学校附属中学校 校長
博士(教育)
名城 政一郎

中学あるいは高校時代に「勉強は楽しい？」と質問されたとしたら、私の答えは明らかに「ノー」だったでしょう。しかし今は毎日「楽しく」勉強しています。これは、大学で経済学を学んだことで、私自身「できないことができるようになる」「わからないことがわかるようになる」、そして「どこまでわかっている、どこからわからないのがわかるようになる」ことが勉強であり、その証明は「自分の言葉で説明できること」だと実感したからです。この時から私という人間の本質が変わったといってもいいはずです。私が大学で体験したことを沖尚生には中学、高校

沖縄尚学

編集：沖縄尚学高等学校附属中学校
PTA文化教養部
〒902-0075 那覇市国場747番地
TEL (098) 832-1767・853-1579
<http://www.okisho.ed.jp>
発行：有限会社 南風原印刷
TEL (098) 834-1616

で体験してほしいと思っています。

昨年、東大元副学長の南風原先生を本校にお迎えし、生徒向けに講演していただきました。その講演で、南風原先生は、東大をはじめ多くの大学で教えた経験から「入学した時の東大生の学力は日本でトップレベルだ」と思うが、卒業するときは、他大学の学生に追い抜かれている東大生も少なくない」と話しておられました。確かに東大生でも司法試験に落ちる人がいるかと思えば、入学難易度では東大よりずっと易しい大学から司法試験に合格する人もいます。東大生でも東大の大学院に不合格になる人もいれば、他大学から合格する人もいます。南風原先生のメッセージは「東大合格者はその後もずっと優秀だというイメージを持っている人が多いが、大学入試という一時点の優秀さで将来の優秀さを予測することはできない」というものでした。

「東大に入学して伸びない人と伸びる人の違いは何ですか？」と質問

した生徒がいました。南風原先生は、東大合格を人生の目標であるかの如く勉強してきた人は伸びなくなり、「物事をマスターする喜びを経験した人は伸びる」という趣旨のことを答えておられました。

南風原先生の答えを補足すると、大学に合格するために「我慢して」勉強してきた人は、大学に合格したとたん、それまで我慢してやってきた勉強をやめてしまいます。これに対して、大学への受験勉強のプロセスで「わからないことをわかるようにする」「できないことをできるようにする」「楽しみと喜びを実感した人は、大学入学後も、いや、生涯「楽しい」勉強を続け、潜在能力を顕在化（自己実現）し続けていきます。沖尚生には、常日頃「良い席次をとる」ためや「試験に合格する」ために我慢して勉強するのではなく、「できないことをできるようにする」「わからないことをわかるようにする」「（自己実現する）ことを楽しみながら勉強するよう促しています。沖尚生の将来が楽しみです。



生徒にも保護者にも楽しいPTA新聞、今号の特集は卒業と体育祭です。

1面、校長名城政一郎先生は、勉強とはなにか、という根源的な問いに答えます。大人にも子供にもお勧めです。

2面、理事長名城政次郎先生の記事は本学の基本的な姿勢を示してくれます。空手演武大会もあります。

3面、学年行事紹介では2年生、「未来への道しるべ」十四歳のハロワークを取り上げました。「社会の窓」のこの行事、生徒の学びを書いてもらいました。

(担当 新垣浩和)
4・5面では3年生各クラスから中学での成長著しい1名を選んでもらい、3年間の学びを書いていただきました。個性豊かなそれぞれの学びをご覧ください。

(担当 仲宗根はづき)
6・7面は3年に一度の体育祭特集です。主担当の高良記者が素晴らしい写真を選定、感想文とレイアウトしています。どうぞお楽しみください。

(担当 高良愛、香坂望美、知念暖)

編集 PTA文化教養部

新垣浩和、香坂望美、佐久川盛子、高良愛、知念暖、知念陽子、仲宗根はづき、仲宗根章、平良那愛、銘苅佐織、鴨澤眞夫、佐喜真めぐみ

「風格と親近感」を感じさせる進学校創り



名城 政次郎

学校法人 尚学学園 理事長
沖縄尚学高等学校 校長

「風格と親近感」を感じさせるたくましい進学校を標榜うして「沖縄尚学高等学校」を発足（1983年・昭和58年）してから、今年で35周年の節目を迎えました。本校の教職員・生徒・保護者の皆さんが本校の教育の推進に協力して下さいました。

創立以来、中高一貫体制の下、県内・県外・海外の難関大学に多くの卒業生を送り出してきました。これ（過去33年間）までに国立大学5135名（旧帝大286名・医学科550名）・海外大学（270名）の実績があります。

また、スポーツ面、文化面でも大きな成果を挙げってきました。全国高校野球甲子園大会優勝二回・明治神宮野球大会全国優勝、全国柔道選手権大会優勝、全国なぎなた大会優勝などの栄冠に輝きました。文字通り「風格と親近感」を感じさせる「文武両道のたくまし

い進学校」として、沖縄の戦後教育史に大きな金字塔を打ち立ててきたと自負しています。

卒業生の皆さんは卒業後も本校の二つの学校訓の理念を、日常生活の中で周りの人に感じさせるように行動してほしいと思います。

○怖れず・侮らず・気負わず やるべきことに取り組みます

○暖かみ・厳しさ・知性を身につけ 感謝と奉仕の心を実践します

本校の卒業生は、あらゆる分野で活躍しています。そして、多くの人々からその人間力が高く評価されています。

このたび、創立35周年を記念し、来る3月16日（土）に、第一部は、名城政一郎副理事長が「21世紀型教育システムの構築―グローバル進学校とは―」を講演し、第二部は、私が副理事長との対談形式で「怖れず・侮らず・気負わずミ私が歩んできた道」の題で話をさせていただきます。つきましては、ご家族、友人、知人、お誘い合わせの上、ご出席くださるようお願い致します。

第八回 空手演武大会

平成最後となる記念すべき標記大会が、平成三十一年二月十五日（金）奥武山運動公園内にある県立武道館において開催されました。空手道連盟の平良会長を始め県空手振興課からも多数の来賓の皆様方にご臨席賜り、大会を盛り上げていただきました。また、平日にも関わらずギャラリーには保護者の皆様で満席となり、空手に対しての関心の高さを感じました。

まずは開会式全生徒の凛とした空手着姿は圧巻で大変頼もしく立派なものでした。

試合が始まり、一年生は初めての大会にもかかわらず、堂々と元氣いっぱい気合の音が会場中に響き渡っていました。

二年生は、中堅学年として去年の経験を活かし、まだまだ未熟な所もありますが、各流派の形をしつかり覚え、チームが一丸となつて連帯感を発揮しました。三年生は、冲尚中を引っ張る最上級生として、立派に落ち着いて演武し、積み重ねてきた技を遺憾なく発揮しました。

今回もさらにクラスの連帯感を深める事ができるよう大きなクラス旗を作成し、四字熟語やイラストなどで各クラスの個性を出しギャラリーに



掲げ大会を盛り上げました。

大会を迎えるにあたり、空手講師の先生方には早朝から細かい技の一つ一つ指導して頂き、大会に向けやり切る事ができました。あるクラスでは大会に対する温度差から求めてしまい担任が仲裁に入ることもありましたが、そのことがあったからこそギャラリーが団結しました、との声が



聞こえました。この大会で生徒達も私たち教員も多くのことを学び成長することができました。一年間の空手授業の集大成となる大会として今後とも大切にしていきたいと考えております。今後とも保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

中学体育科主任 徳田 礼

学年行事紹介

特集・職業講話「未来への道しるべ」

一学年は「スマートフォン世代のコミュニケーションの実態と対策」、二学年は「沖尚OB・OG大学生による進路講話」でした。今回のコーナーで取り上げるのは二学年のPTA行事、「未来への道しるべ」十四歳のハローワーク」と題した職業講話です。この行事は沖尚同窓会のご協力をいただき、各界でご活躍するOB・OGをはじめとする講師二名から、沖尚卒業生の視点で学校生活や大学進学・職業選択等について、分かりやすくアドバイスやメッセージをいただきました。生徒たちはこの講話を通して、様々な職業観や人生観に触れることができ、将来の職業に対して自分自身をみつめ直し、進路を考える貴重な機会となりました。(新垣 浩和)

■講師 伊集 智英
■職業 くはら薬局 管理薬剤師
■講師 長間 邦和
■職業 中部農林高校 食品科学科教諭

私は今回の職業講話を通じて自分のためになることをたくさん知ることができました。

まず初めに、くはら薬局の管理薬剤師の伊集智英さんの講話で「全教科、学ぶ必要があって教わっていることだから一教科も疎かにしてはいけない」という言葉が心に残りました。この言葉を聞いて改めて苦手を教える作らないよう頑張ろうと思いました。

つぎに、中部農林高校、食品科学科教諭の長間邦和さんの講話では、ヒヨコに聴診器を当てて心臓の音を聴いたり、牛の出産のシーンの動画を見たりしました。また、教師をやっている楽しいこと、苦労することを伺い、身近にいる先生にお世話になっているのを忘れてはいけないと感じることができました。ネットで調べても出てこない事をたくさん知ることができたのでよかったです。

二年三組 森下 千響

■講師 上原 真人
■職業 沖縄県立八重山病院 麻酔科
■講師 新垣 真理
■職業 厚生労働省労働基準局監督課

私は、麻酔科医師の方と厚生労働省の方の職業講話を希望しました。医者という仕事に強いイメージを持っていた私は、講話の内容



も医者ならではの厳しい日常についてかと思っていきましたが、上原先生は患者さんの命を預かる大変な職業にもかかわらず、趣味を大事にしていることなどを聞いて、とても親近感を持つことが出来ました。責任ある仕事の中でも精神的にも、体力的にも重労働なのに弱気にならず、やる気に満ちあふれ輝いて見えた上原先生を深く尊敬しました。厚生労働省という国の行政機関に勤める新垣さんにも直にお話を聞けて、職業は様々あるけれど共通しているのは、やりがいや責任を持てる仕事であると思いました。これを機に、様々な職業について真剣に考え、前に進んでいきたいと思います。

二年四組 西石垣 候貴

■講師 東盛 貴光
■職業 社会医療法人かりゆし会 形成外科医

僕は、今回、外科医の東盛貴光先生の話を聞いて、自分の将来についての考え方が変わりました。僕は、将来、医者になることを志望していますが、外科医になろうとは思っていませんでした。実は、僕は手術で血などを見るのは怖いと思っていましたので、医者になるなら内科医や研究専門の医者になりたいと思っていました。しかし、東盛先生の話を聞いて、その考えが大きく変化しました。講話の中の、頭部のやけどで髪の毛が生えてこなくなった皮膚の治療に、風船を利用して治すという画期的な治療法にとても驚きました。この話を聞いて、自分の想像をはるかに越える治療法を行っているという外科医の仕事にとても興味を持つことができました。

講話の中で、もう一つ印象に残っていることがあります。それは、何度か手術を行っている東盛先生でも自分の母親の手術を執刀することになったときは、不安で夜も眠れなかったと話していたことです。そして東盛先生は血管の縫合のシミュレーションを何度も行っていたそうです。母親からすると、一番信頼できる息子に執刀してもらい、安心していただきたいと思います。でも、息子の東盛先生からすると、失敗できないという緊張感が半端ではなかったと思います。これは、自分の母親を手術するという場合でしたが、他の人を手術する場合でも、医者は失敗することはできないという意識であることには変わらないと思います。医者は人の命を救うために日々考え努力しながら仕事に取り組んでいることがわかりました。

たくさんの仕事がある中で、人の命をあずかる医者という仕事はとても責任が重く、とても大変だと思います。でも、どの仕事よりも責任が重大だからこそ、やりがいもあるのだと思います。今回の講話を聞いて、僕も将来、いろいろな治療や手術ができる外科医になりたいと思いました。そのために今は、一生懸命勉強して、いろいろな体験をすることで心や体を成長させ、自分の将来の夢に一步步近づけるように頑張っていきます。

二年七組 仲松 優乃

うございます



苦手に向き合う

三年一組 長野 遙香



私は3年間を通して、苦手なことから逃げてはいけないうことを学びました。入学してすぐに私は英語の難しさに直面しました。中1、中2の頃は聞いていたつもりでいました。しかし、テストになると点数が取れず、毎回補習や再テストにかかってしまっていました。わからないので宿題や勉強を後回しにしたり、やらなかったりして、私にとって英語はどんどん苦手科目になっていきました。

中3になったとき、逃げ続けてはいけないと思い授業を真剣に聞き、わからない所は質問をして疑問を残さないようにしました。すると成績は上がり、気づけば英語は苦手科目から得意科目になっていました。

もし英語から逃げ続けていたら、さらに苦手になっていったと思います。また他のことも苦しくなったら逃げるようになっていたかもしれません。そう考えると、克服していて良かったと思います。

苦手科目から得意科目にすることができたのは自分の力だけではなく、最後まで丁寧に教えてくれた先生方や周りの友達のおかげだと思います。ありがとうございます。これから前向きにいろいろなことに挑戦していく高校生活を送りたいです。

感謝

三年二組 与那嶺 瑠夏



沖縄尚学での中学校生活は長いようで本当にあっという間でした。

私は小学校の時から、「国際社会で活躍できる人になりたい。」という目標があり、「だったら冲尚が良いんじゃない?」という両親の勧めもあり沖縄尚学に入学しました。入学したての頃は一からの友人作りで不安も多かったのを覚えています。でもすぐに何でも話せる友人ができ、共に勉強に励み充実した毎日を送ることができました。

勉強で分からない部分があれば分かるまで教えて下さり、悩み事も親身に相談に乗って下さり、いつも私達生徒のことを一番に考えて下さっている先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。沖縄尚学に入学して大切な仲間と素敵な先生方に出会えた事は何よりの宝物だと思っています。私は高校一年生の夏からフィンランド留学をします。留学をしたいと言った時、私を信じて背中を押してくれた両親にとっても感謝しています。

四月から高校生になります。あと3年間沖縄尚学で勉強できることに感謝して目標の実現に向けてさらに努力したいと思います。

文武両道のすすめ

三年三組 又吉 アリアン 琉空



今でも覚えていますが、ぶかぶかのブレザーを着て、おぼつかない手つきでネクタイを締め、新たな出会いに心を躍らせていた中学一年生の自分を。

小学校の頃からサッカーをやっていたこともあり、中学校でもサッカー部に入学した僕は毎日充実した日々を送っていました。そう初めてのテストの結果が帰ってくるまでは、「三桁!それも下から数えた方が早い席次!」。この衝撃は僕のちっぽけな希望を粉々

に打ち砕きました。あまりの驚きと悔しさから、僕は本気で勉強と向き合いました。毎日たくさん教科書を持って帰り、夜遅くまで勉強をしました。しかし、現実には残酷でした。次に受けたテストでも席次は最悪でした。何より僕が辛く感じたのは、勉強に向き合えば向き合うほど部活で良いプレーができなくなっていることでした。部活から帰り、夜遅くまで勉強し疲れが取れずに翌日を迎える。このサイクルが僕に襲いかかりました。焦りが出て、いよいよ悪循環から抜け出せなくなりました。そんな時、担任の先生から「勉強法を変えてみよう」と助言をもらいました。

僕は教科ごとにやり方を見直し、教科書にマーカーを引きすぎる癖を直し、放課後にわからない所をたくさん質問するようにしてみました。すると、どうでしょう、少しずつですが、努力が実り始めました。その後も周りのサポートにより、成績は伸び、今では自然とやり切って出し切る事ができるようになりました。

この学校生活は文武両道の難しさから始まりましたが、三年間で自分を大きく成長させることができた実感しています。これまでサポートして下さいた家族、先生方、そして友人たちへの感謝とともに、後輩たちに文武両道を目指す過程で大きく成長できる!と声を大にして伝えたいです。

感謝

三年四組 安間 愛琉



私は中学二年の頃に現代版組踊をはじめました。最初はとても楽しくて、毎日の生活が充実していました。しかし、

中学三年の時に私の前に大きな壁が立ちました。一つ目は勉強という壁です。冲尚では中学三年になると高校生の範囲を勉強します。高校の内容はとても難しく、ついていくのが大変でした。そして二つ目の壁が通学です。私はうるま市に住んでおり、毎朝五時に起きます。練習は夜の九時に終わるので、毎日四時間の睡眠というハードなスケジュールでした。勉強と通学、私にこの壁が立ちました。頑張って、楽しい事がだんだん「苦痛」になっていきました。そんな時、私は学校の友達や先生方、現代版組踊の仲間、そしてなにより家族にとっても支えられました。私の親は毎晩、夜遅くまで練習の送迎してくれたり、自分が落ちこんでいると、相談に乗ってくれたり、本当に感謝でいっぱいです。勉強が大変だった時は友達や学校の先生が残って教えてくれました。学校生活と現代版組踊の両立は大変でしたけど、私がか

こまでやっていったのは支えてくれた人たちの存在があったからです。だから今の自分がいるのだと思います。今までたくさん悩んできた事は無駄ではなく「成長」につながりました。そのような環境を作ってくれた冲尚や現代版組踊に感謝です。高校生になってもがんばっていききたいと思います。

大きな成長

三年五組 島袋 百々花



私は一年生の頃、とても成績が悪く三ヶ々の席次しかとったことがありませんでした。何をどう改善すればいいのかも考えず、ただぼんやりと毎日を過ごしていました。一年生の最後の面談で、このままだとコースを変更せざるをえ



卒業おめでとう



有意義な三年間

三年六組 渡慶次 叶

この沖縄尚学に入
学してから長いよう
で短く感じた中学生
活。その中で一番印

ないということを宣告されました。その時初めて、自分が崖つぶちにいる事を知り、思わず泣いてしまいました。その年の春休み、毎日塾に通い、必死に勉強し、遅れを取り戻そうと努力しました。

結果、コース変更されることはありませんでした。自分なりに努力してみようと思ひ、効率などは考えずにひたすら机に座りペンをはしらせていました。前と比べて成績は上がったものの席次は80番位でした。その時母に「二ヶタとれただけでも良かったわね」と言われました。それがとても悔しくて「三年生になってもっと良い成績をとって見返してやろう」と思いました。

そして三年生に進級し、最初のテストでは驚くほど良い点数を取りました。母に伝えるととても喜んでくれて、あの時の笑顔は忘れられません。家庭学習の継続もあり、それを機に多くの時間を勉強に費やすようになって自然と勉強する習慣も身につく、結果が出せた時の喜びを何度も味わいたいと思うようになりました。

このように、私は一年生から三年生にかけて、大きく成長しました。勉強はあまり得意ではないけれど、やってみると意外と楽しいと思えるようになりました。わからないことがわかるようになる。できないことができるようになる。それが勉強です。みなさんにも勉強することの楽しさを知ってほしいです。



贈る言葉

中学三年生主任 小橋川 豪

三年前の平成二十八年四月七日の入学式、皆さんと初めて出逢った時のことを今でも鮮明に覚えています。少し大きめの真新しい制服に身を包み、期待に胸を膨らませていた皆さんの目の輝きが今でも忘れられません。

私はこの三年間、皆さんには「素直さ」「謙虚さ」「寛容さ」を身に付けた人間になって欲しいと言いつづけてきました。学校生活の中で、厳しく注意を受けた時もありました。しかし、そういう時でも皆さんは、「素直な心」を

象に残っていることは、勉強と部活の両立です。

一年生の頃は初めての環境に少しづつ慣れていくことに精一杯でしたが、二年生では学校にも馴染め、部活で先輩が入ってきたので、仲間同士で支え合い、励まし合いながら勉強も部活も頑張ることができました。三年生での最後の中学生生活は、目標としてきた県大会まであと一歩届かず悔しさを味わいました。しかし、ここで培った経験を活かせるように、引退後は勉強一筋で僕は頑張りました。

勉強と部活の両立以外にも、生徒会役員としての裏方での仕事、空手を通しての文化力、異文化交流や英検でのコミュニケーション力など、沖縄尚学だからこそ学べたことが数多くありました。僕がこのようなかげがえのない経験ができたのも、どんな時も陰で支えてくれた両親、仲良くしてくれた友達や先輩、いつでもフレンドリーに接してくださった先生方のおかげだと思っています。



誇れる自分

三年七組 新垣 淑那

四月からいよいよ高校生活が始まります。高校生になるとより一層テストも多くなり、大学受験を見据えた本格的な勉強がスタートします。大人になったときに、「あの時もっと勉強しておけばよかったのに」と後悔することがないよう、中学校での経験を活かし、有意義な高校生活を送っていきましょう。

「この三年間で、あなたは誇り高い自分になれましたか」ともし質問されたら、間違いなく私は「はい」と答えると思います。

私の小学生の頃を一言で表すと「控えめな子」だったと思います。人の前で話す時はもちろん、父と話す時でさえも緊張してあまり自分の考え

持つて学習や学校行事に一生懸命取り組んでくれました。また、皆さんは勉強やスポーツができるからといって、それを自慢したり上から見下すことなく、常に「謙虚な姿勢」で人と接することができるようになりました。そして、失敗した時は相手を責めるのではなく、連帯感を持ってみんなでカバーしあい、「許すこと」や「信頼する」といった「寛容さ」も身に付けることができました。その結果、できない事ができるようになり、わからない事がわかるようになり、人間的に「成長」することができました。

二十数年の教員生活の中で、これほど素直で優しく純粋な生徒に出逢い、これほど心を動かされたのは初めてでした。この三年間、皆さんのまつすぐ

を伝えることができなかったのが遠慮がちで控えめな性格になったと思います。だから、冲尚に入って「大丈夫だろうか」と思っていました。しかし、冲尚の先生方や友達との「間違いをしても大丈夫」という寛容な雰囲気や私をとて成長させてくれました。そのおかげで、私はこの三年間、級長を務めることができました。また、今年の体育祭では、自ら手を挙げて先頭で踊るという大役を担うことができました。今はまだ、父と真面目な話をするときは少し緊張しますが、自分の考えを伝えられるようになりました。ですから、私は今の自分を誇る事ができます。そして、高校へ進学してもこのすばらしい環境を活かして日々切磋琢磨していきたいと思っています。

最後に、そんな私を支えてくれた先生方や友達そして家族に「ありがとう」と言いたいです。

でひたむきな姿に何度救われ、支えられたことか。皆さんのおかげで、私も成長させてもらいました。心より感謝しています。

最後に、皆さんに「克己」という言葉を贈ります。この言葉は、私自身も大切にしている言葉です。三年間学年便りのタイトルにしてきましたが、「自らを律する」「己に克つ」「Self-Control」この言葉に込められている意味は、皆さんのこれからの人生のあらゆる場面において大切になってきます。この言葉を常に意識して、自己実現・社会貢献のできる人間になって下さい。三年間、楽しく充実した時間を皆さんと共に有できたことに感謝しています。

いつぱい にふえーでーびたん（本当に、どうもありがとう）ございました。

学校附属中学校 体育祭

切る 皆が主役

中学体育祭が、宜野湾市立グラウンドでおこな
徒の願いが通じたのか、太陽が照りつけるほど
には、ご来場いただきこの場を借りて感謝とお
信と充実感にあふれ最高の笑顔をみせてくれま

中学最高！

中学体育科主任 徳田 礼



た3年生



業する僕たち
テントが体育祭
ました。今まで
立って応援にも
す。

記念寄贈品

人でちょんだら
ーを盛り上げま
クー、大太鼓全
ないといけない
えられました
振りました。

3年1組
新垣 貴士



友情を確認した2年生



ソーラン節では、1人だけでなく、皆で大きな声を出すことで団結し
たことが、成功への道だったと思います。また、リレーや騎馬戦では、
1人の力では絶対に勝つことはできないので、勝つために40人皆で頑
張ることが出来て楽しかったです。そして、今回の体育祭で私たちの学
級がとても仲良くなってことは1番良かったことだと思います。

2年1組 熊野 智花

努力



中学最初で最後の体育祭、クラスのメンバーと全力で楽しみ、青春して、
沢山のことを学びました。2学年男子の集団行動は、初めは一切息が合
わず、こんな不可能だと感じました。先生方に立て続けにミスを指摘
されて、心が折れそうになることもありましたが、毎授業、毎授業、み
んなで歩くテンポを揃えたりして工夫を重ねて努力することで、全体の
交差がぴったりと合った時に、1番のやりがいを感じました。私たち2
学年男子は、「最初は不可能だと感じるものも、努力次第で可能になる」
ことを学びました。今後の糧としていきます。

2年6組 大沼 哲平

懸命 沖尚生は一生懸命がかっこいい！

平成最後の年、ダンスと言えばUSA！このダンスが好きで踊れるよ
うになりたいと努力していたので体育祭で踊ると聞いて驚き、またみ
んなの手本になって最前列で踊ることになり、緊張もしましたが、練習
の成果もあり楽しみながら踊ることができました。また新聞の記事にも
使いたいと話があり、なんでも努力すれば必ず評価されるんだと思
いました。

2年6組 宮城 青空



第13回 沖縄尚学高等

感謝を覚えた1年生



私は三年に一度しかない体育祭で、このクラスの一員としてやり切ることができたと思う。結果ではなく、クラスの皆が出席して怪我なく終われ、さらに皆で最後まで楽しくできたことが一番嬉しかった。失敗しても何度も繰り返した練習。その甲斐あって誇れるものとなり、本番では大きな達成感を得ることができた。努力したことが結果につながらなかったとしても、過程で頑張れば無駄なこと等ない、大きく成長することができると感じた。またいつも応援してくれる家族にも感謝です。弁当を作り送り出してくれ、本番は私を大勢の人の中から見つけ応援してくれた。帰り道、私の意気揚々とした話を楽しそうに聞いてくれました。「頑張っている姿は周りを幸せにし、自分もやるべきこと全部本気でがんばろう」という想いにつながるものだと気づきました。それが、私が体育祭での一番の成長だと思います。

1年5組 崎濱 仁伊奈

やり切って出し

このスローガンをもとに3年に一度の体育祭でやり切りました。天気予報では雨でしたが、全校生の好天に恵まれました。保護者・家族の皆さまに感謝の礼を申し上げます。やりきった生徒たちは、満足していました。

沖縄尚学



笑顔 皆で成し遂げた後の笑顔は最高！



冲尚には応援ダンスがあるのを知っていますか～？



「冲尚サンバ」と呼ばれており地区陸上大会でも踊られるダンスです。体育祭では指揮台の上で部活動紹介を僕の掛け声に合わせて披露しました。皆が一丸となっている姿は圧巻の光景でした。

2年6組 登川 拓磨

絆を強め



今年中学を2年31期の寄贈の品で初お目見えの白と違って力が入りそう

31期卒業生



体育祭では一に扮しエイサーをした。パーラの振りを覚えるという課題を夏休み返上で

スポーツ活動

平成30年度

表彰者一覧

2学期～

文化活動

- 第50回九州ジュニア水泳競技大会（9月22日）
女子13～15歳50m背泳ぎ **第2位** 加屋本悠(2-5) (31秒46)
- 第41回沖縄県中学校柔道大会（10月13日）
女子団体 **第1位** 沖縄尚学高等学校附属中学校
女子52kg級 **第1位** 島袋結子(2-1)
女子70kg級 **第2位** 島袋芽子(1-1)
- 第50回秋季選手権水泳競技大会（10月13日）
女子200m自由形 **第1位** 加屋本悠(2-5) (2分12秒89)
女子100m自由形 **第1位** 加屋本悠(2-5) (1分01秒52)
女子100m背泳ぎ **第2位** 加屋本悠(2-5) (1分07秒80)
- 第60回沖縄県中学校陸上競技大会（10月20日）
女子1年走幅跳 **第2位** 牧崎百花(1-7) (4m73)
- 第21回沖縄県中学生新人空手道競技大会（11月23日）
男子2年個人形 **優勝** 島袋生成(2-4)
女子2年個人組手 **優勝** 佐藤永理(2-4)
男子団体組手 **準優勝** 沖縄尚学中学校A
松島史門(2-1)、島袋生成(2-4)、金城利輝(2-6)、照屋優介(2-5)
女子団体組手 **第3位** 沖縄尚学中学校
平田亜季(2-1)、佐藤永理(2-4)、前川心花(2-4)、嘉陽聖(1-5)
- 第21回「もとぶ元氣村」青少年水泳大会（12月9日）
男子50m平泳ぎ **第2位** 吉岡円舵(2-5) (32秒59)
男子100m平泳ぎ **第2位** 吉岡円舵(2-5) (1分10秒69)
男子200m平泳ぎ **第2位** 吉岡円舵(2-5) (2分36秒23)
女子100m背泳ぎ **第1位** 加屋本悠(2-5) (1分06秒46)
女子200m自由形 **第1位** 加屋本悠(2-5) (2分12秒62)
女子400m自由形 **第2位** 加屋本悠(2-5) (4分32秒70)
- 平成30年度沖縄県私立中学校学事奨励式（12月8日）
表彰状 島袋生成(2-4)
- 第23回那覇市空手道古武道選手権大会（9月24日）
中学生男子形 **第2位** 細谷琉渡(3-3)
- 平成30年度那覇市スポーツ少年団空手道交流大会（11月11日）
中学生個人形 **第3位** 細谷琉渡(3-3)
- 第18回おきてん旗争奪 第37回沖縄県なぎなた大会（12月16日）
中学生の部 団体試合 **第3位** 沖縄尚学附属中学校B
宮城俐子(1-1)、金城かのん(2-3)、大沢衣乃里(1-7)
- 第41回那覇地区中学校新人バドミントン競技大会（12月29日）
女子シングルス **第3位** 城間心子(2-5)
- 第16回沖縄県ジュニア新体操クラブ連盟ハイビスカスカップ大会（12月28日）
中学生ボール **第6位** 野原すみれ(1-5)
中学生クラブ **第6位** 野原すみれ(1-5)
- 平成30年度那覇地区中学校新人柔道競技大会（平成31年1月12日）
女子団体 **優勝** 沖尚中学校A
女子団体 **準優勝** 沖尚中学校B
中学女子52kg以下級 **優勝** 島袋結子(2-1)
中学女子57kg以下級 **優勝** 泰川寛野(2-3)
中学女子63kg以下級 **優勝** 島袋芽子(1-1)
中学女子70kg以下級 **優勝** 玉城美桜(1-4)
- 第28回OTVカップ争奪総合体操競技大会（1月13日）
新体操 中学校女子 個人総合 **第3位** 野原すみれ(1-5)
- 第36回那覇地区中学校新人テニス競技大会（1月14日）
女子個人戦シングルス **準優勝** 熊野智花(2-1)
女子個人戦ダブルス **第3位** 榮門星夏(1-4)、熊野智花(2-1)
女子団体戦 **第3位** 沖縄尚学高等学校附属中学校
- 第39回九州カップ水泳競技大会（2月2日）
男子13・14歳 50m平泳ぎ **第3位** 吉岡円舵(2-6) (30秒67)
- 第18回沖縄県中学校テニス新人大会（2月3日）
女子ダブルス **第3位** 榮門星夏(1-4)、熊野智花(2-1)
女子シングルス **第3位** 熊野智花(2-1)
- 第62回全沖縄中学校新人柔道大会（2月9日）
女子団体 **優勝** 沖縄尚学高等学校附属中学校B
女子団体 **準優勝** 沖縄尚学高等学校附属中学校A
中学女子52kg級 **第1位** 島袋結子(2-1)
中学女子57kg級 **第1位** 泰川寛野(2-3)
中学女子63kg級 **第1位** 島袋芽子(1-1)
中学女子70kg級 **第1位** 玉城美桜(1-4)

- 第ECCジュニア英語教室主催沖縄地区合同発表大会（9月2日）
最優秀賞 與那嶺亜寿華(2-3)
- 第55回赤旗全国将棋大会沖縄県予選大会（9月9日）
A級 **第3位** 津波古貴樹(3-3)
- 平成30年度全日本通信珠算競技大会沖縄県大会（10月21日）
読上算競技／フラッシュ暗算競技
第2位 嘉陽聖(1-5)
読上算競技／読上暗算競技／フラッシュ暗算競技
第2位 齊藤聖(2-6)、久貝恵真(3-1)、大城奈々(3-6)
宮城穂(2-4)、宮内快(2-5)
読上算競技 **第2位** 垣花舞衣(1-1)
- 第10回全沖縄スプリングコンテスト（10月21日）
第3位 沖縄尚学高等学校附属中学校 M&M S
親泊優希(1-6)、赤嶺帆花(2-6)、嵩山侑葵(3-1)
- 第66回全琉小・中・高校図画作文書道コンクール（10月29日）
書道部門 **最優秀賞** 森山さくら(3-5)
優秀賞 牧志優月(1-4)、金良健之介(1-7)、齋藤聖(2-6)、上原万侑(2-7)
優良賞 宮國凜(1-4)、備瀬莉杏(1-6)、宮良歩佳(2-2)、伊佐美羽(2-3)、佐藤遥香(2-5)、四宮郁萌(2-5)
佳作 大塚梨世(1-2)、新垣壮磨(1-3)、根間乙歌(1-4)、上原奈子(1-6)、仲村月花(1-6)、比嘉笑花(2-3)、齋野平凜(2-4)、砂川愛華(2-4)、岸本夏鈴(2-5)、比屋定花菜(2-6)、仲座萌香(2-6)、辻美咲(2-7)、安里晃生(2-7)、松島初羽(3-5)
絵画部門 **最優秀賞** 四宮郁萌(2-5)、我那覇朝楽桜(3-6)
優秀賞 大城吉佳(1-6)、中島ほのか(1-6)、仲宗根はづき(1-7)、中村玲苑(2-1)
伊波景紀(2-7)、徳永悠真(3-2)、赤嶺真奈嘉(3-6)
優良賞 濱川心愛(1-1)、赤木佑宇(1-3)、野原らな(1-3)、鬼塚結愛(1-5)、高吉夏音(1-5)
宮城吉智(1-7)、坂本条(1-7)、仲地健太郎(1-7)、津嘉山理子(1-7)、津波古ひなの(1-7)
當山富来(2-1)、嘉数未希(2-1)、比嘉優衣(2-2)、運天美穂(2-3)、森下千響(2-3)
崎間大智(2-4)、戸田愛梨(2-5)、米須莉々七(2-5)、名嘉千晴(2-5)、吉崎珠麗(2-6)
浅野琢磨(2-6)、知念可純(2-6)、辻美咲(2-7)、大田龍空(2-7)、平良咲(2-7)
金城由希南(3-1)、小松原颯(3-4)、長野咲希(3-4)、當真英治(3-5)、山里理紗子(3-7)
佳作 伊波結子(1-1)、垣花舞衣(1-1)、山城駿(1-1)、仲間巴南(1-3)、平田亮介(1-4)
渡邊しゆん(1-5)、長嶺成(1-7)、新垣心奈(1-7)、花城愛音(2-1)、宮城歩果(2-2)
金城由希南(2-2)、佐藤桃世(2-2)、上原実久(2-2)、盛長三喜(2-2)、大仲晴(2-2)
仲原志勇(2-2)、比嘉笑花(2-3)、武島琉門(2-3)、砂川悠翔(2-4)、山城陽菜(2-4)、
国吉次元(2-4)、佐藤永理(2-4)、松岡杏樹(2-5)、上間慧士(2-5)、真泉平乃里伽(2-5)
宮城舞香(2-6)、姜有美(2-6)、新垣浩孝(2-7)、越智咲来(3-2)、山城香桜(3-3)、
仲間結希乃(3-3)、大城亜新(3-4)、市川桜子(3-5)、小田口結子(3-5)、松島初羽(3-5)
上原翔(3-5)、城間未希(3-5)、池間克紀(3-5)、平安利伊(3-5)、米須清亮(3-5)、
天久ひとみ(3-6)、嘉数真菜(3-7)
- 関孝和先生顕彰第69回全日本珠算競技大会（11月3日）
中学生の部 個人総合競技 **優良賞** 嘉陽聖(1-1)
- ブルグミュラーコンクール 2018 沖縄大会（11月4日）
中学生部門 **銅賞** 比嘉優衣(2-2)
- 第24回那覇地区中学校総合文化祭（11月10日）
表彰状 リズムなぎなた 野村采奈(1-2)、宮城俐子(1-3)、
上江洲ひなた(1-3)、上原香暖(1-3)、福田彩弥(1-5)、
大沢衣乃里(1-7)、金城かのん(2-3)、仲程麻陽(2-3)
バトントワリング 大城慈月(3-7)
書道 備瀬莉杏(1-6)、金良健之介(1-7)、宮良歩佳(2-2)
比嘉笑花(2-3)、齋野平凜(2-4)
- 第69回中学校意見発表大会（11月7日）
優良賞 盛田葵生(1-6)
- 田崎清忠杯第18回私立中学校英語レシテーション大会（11月11日）
中学1年生の部 **第3位** 山田叶乃(1-5)
中学2年生の部 **第3位** 山川華佳(2-6)
団体賞 **第3位** 沖縄尚学高等学校附属中学校
- 第37回全九州珠算選手権大会（11月11日）
読上算競技 中学生の部 **第2位** 宮城穂(2-4)
読上暗算競技 中学生の部 **第2位** 宮城穂(2-4)
読上暗算競技 **第2位** 大城奈々(3-6)
団体総合競技 中学生の部 **第2位** 嘉陽聖(1-5)、宮城穂(2-4)
大城奈々(3-6)
- 平成30年度中学生・高校生の税に関する作文表彰式（11月16日）
優良賞 細谷琉渡(3-3)、比嘉大和(3-6)、今井美海(3-6)
国税庁長官感謝状 沖縄尚学高等学校附属中学校
全国納税貯蓄組合連合会会長感謝状 沖縄尚学高等学校附属中学校
- 第57回伊勢神宮奉納書道展（11月17日）
毎日新聞社賞 辻美咲(2-7)
- 第3回「北方領土と沖縄」の沖縄県作文コンクール（12月3日）
会長賞 津嘉山理子(1-7)
- 平成30年度「心の輪を広げる体験作文」（12月7日）
中学生部門 **沖縄県知事賞** 玉城結衣(3-3)
中学生部門 **優秀賞** 野村采奈(1-2)
- 第9回日本パッハコンクールin OKINAWA（12月16日）
中学生A部門 **優秀賞** 眞菜里華凜(2-4)
- 平成30年度国際協力学中・高校生エッセイコンテスト（平成31年1月23日）
学校特別賞 沖縄尚学高等学校附属中学校
- 平成30年度対馬丸記念館特別展「那覇秀作展」（1月28日）
絵画部門 **最優秀賞** 四宮郁萌(2-5)、我那覇朝楽桜(3-6)
優秀賞 大城吉佳(1-6)、中島ほのか(1-6)、仲宗根はづき(1-7)
中村玲苑(2-1)、伊波景紀(2-7)、徳永悠真(3-2)
赤嶺真奈嘉(3-6)
書道部門 **最優秀賞** 森山さくら(3-5)
優秀賞 牧志優月(1-4)、金良健之介(1-7)
齊藤聖(2-6)、中上原万侑(2-7)
- 第18回全沖縄珠算競技大会（2月17日）
中学生の部 読上暗算競技 **第3位** 嘉陽聖(1-5)
中学生の部 フラッシュ暗算競技 **第2位** 嘉陽聖(1-5)
中学生の部 読上暗算競技 **第2位** 宮城珠礼(2-4)
中学生の部 フラッシュ暗算競技 **第2位** 宮城珠礼(2-4)